

## 全体での意見交換

今後、具体的な検討にあたっては、高校生などの若い人の意見を取り入れてほしい。

(高根・大泉地区)

市民が前向きに考え発信していくことで、住みやすいまちに変えていける。これからも北杜市のワークショップに参加・協力していきたい。

(長坂・小淵沢地区)

小学校は残して、中学校は白州・武川で1校にできるのではないかと。その際、小中一貫校を検討してはどうか。また、中学校は市内で2校にしてはどうか。

(白州・武川地区)

## 今後の予定

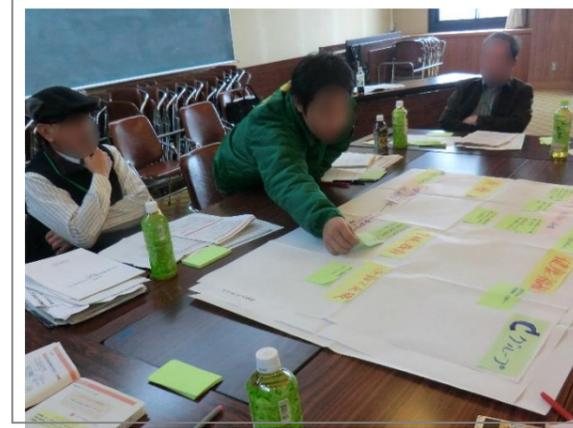
おわりに北杜市から、今後の予定として、本ワークショップの意見を庁内で報告・共有するとともに、次年度以降の個別計画の策定に向けた検討などに反映していく旨の説明をさせていただきました。



# ワークショップ ニュース NO. 03

## 『振り返りシート』より

- ✓ あらためて、市内の施設の状況を知り、いろいろなことを考えるきっかけになりました。
- ✓ マイナスの意見ではなく、結構プラスの意見が聞けたのは良かったです。
- ✓ 意外と集約化を受け入れている人が多くおどろくとともに安心した。
- ✓ 市民の要望を聞いていただき、ありがとうございます。効率のみを考えないとの心強いお言葉がありましたので、住みやすい北杜市を願っております。
- ✓ いろいろな施設を集約化していくことは、経済的にみてもやむを得ない。しかし、そのことで不利益が生じる人もいることを考え、救済の方向もできるかぎり考えてほしい。
- ✓ ただ統合（すべてのもの）をすれば良いのではなく、今ある施設を活用しつつ発展できる様なアイデアを出してほしい。
- ✓ 無駄はなくす。活かすは活かす。当たり前なの振り返りになりましたが、適材適所に税金等活用される事を願います。
- ✓ 住んでいる人たちの生活を守りつつ公共施設の統合、再編、廃止を考えてほしい。
- ✓ 民間ノウハウの活用で市外住民の利用増を期待する（観光施設）。
- ✓ 福祉施設の充実が大事だと思います。（合わせて公共交通の充実も）。
- ✓ 複合化は良いが老人が困らない方法してほしい。
- ✓ これから人口減、高齢化が進む中で、公共施設が負の遺産となって将来の若者の負担にしてはいけないと考える。
- ✓ 公共施設の統合は早急に進めるべき課題であり、子供達に負の遺産を残さない様に現在の不便さなどに気を取られすぎることなく、未来を見据えて進めていただきたい。
- ✓ 課題は多々あるも英断により前進を、子々孫々のために!!
- ✓ 市民ボランティアの醸成が必要である。
- ✓ 費用は、市民ボランティア活用を、修理は業者にまかせるのではなく市民の力活用へ。
- ✓ 是非このワークショップの結果を反映してほしい。



テーマ：

## 広域的な公共施設の 再編を考える

北杜市の公共施設のあり方を考える第3回目のワークショップを開催しました。

最終回となった今回は、産業系、保健・福祉、医療施設の広域的な利用が見込まれる施設に子育て支援、学校教育施設を加え、再編について意見やアイデアを出し合いました。

## 第3回ワークショップ

2019年3月2日（土）  
3月3日（日）

参加者数：52名

- 1 開会
- 2 あいさつ・スタッフ紹介
- 3 前回の振り返り
- 4 本日の進め方
- 5 話し合い（グループワーク）
- 6 グループ発表
- 7 今後の予定など
- 8 閉会

## 《発行》

北杜市企画部企画課

電話：0551-42-1321 E-mail：kikaku@city.hokuto.yamanashi.jp FAX：0551-42-1129

# 広域的な施設の再編に関わる意見を出し合いました

## ■明野・須玉地区

### 意見の概要

- 産業系施設
  - ・観光案内の機能を充実させたい。
  - ・観光施設は民間譲渡を推進してはどうか。
  - ・地域に必要な施設は地元へ移管してはどうか。
  - ・三代校舎ふれあいの里は棟ごとに管理者が違ってしまう問題ではないか。
- 保健・福祉施設
  - ・高齢者施設と保育園や図書館などを複合化し、利用しやすく、行きたくするようにしてはどうか。
  - ・地元のお年寄りが穏やかに暮らせるようにしたい。
- 医療施設
  - ・遠くではなく、近くにより病院を充実させてほしい。

- 子育て支援施設、学校教育施設
  - ・学校、児童施設、図書館などを複合化する。
  - ・子育て支援施設は、地域に機能を残す。
- その他
  - ・弱者が使う施設やコミュニティ・交流のための施設、総合支所などは地域に残し、交通とセットで考える必要がある。
  - ・築年数や利用率などを考慮した計画的な再編を望む。
  - ・データに現れない利用者や地元の意見をまとめて反映してほしい。
  - ・行政任せではなく、市民がボランティアなどでかわる土壌を育てることが重要。
  - ・多世代が集まれる図書館や広場があるとよいのでは。



## ■白州・武川地区

### 意見の概要

- 産業系施設
  - ・市民の生活に必要な施設を優先し、産業系施設は減らすものは減らす。
  - ・観光施設は多すぎる。民活利用を推進するのがよい。
  - ・全てのまちに温泉施設があるのが特色なので活かしてもよいのではないかと。
  - ・温泉施設を核として福祉施設や保育施設、診療所などを複合化してはどうか。
  - ・割引券などの特典を付け、スポーツ施設と温泉施設などの相互利用を促進してはどうか。
- 保健・福祉施設
  - ・病院の周辺に保健・福祉施設を配置してはどうか。
  - ・民活と行政維持とに施設を仕分けする必要がある。
  - ・予防・健康づくりの取組と一緒に考えていく必要がある。

- 医療施設
  - ・市立の医療施設は信頼性に欠けるイメージがある。
  - ・大きな総合病院が1つあればよいのでは。
  - ・病院2つを1つの基幹病院にして充実させてほしい。
- 子育て支援施設、学校教育施設
  - ・中学校は生徒が少なく、部活でチーム編成ができない、クラス替えがなく交流が限定的などの問題がある。
  - ・中学校の統合は必須。小中一貫校の考え方もある。
  - ・学校のプールは観光客なども使えるようにできないか。



## ■高根・大泉地区

### 意見の概要

- 産業系施設
  - ・利用者を増やすために民間のノウハウが必要。
  - ・利用実態を考慮して再編を考える。個々に検討が必要。
  - ・民間からアイデアを募り、温泉10施設を一括で指定管理させてはどうか。
  - ・温泉施設は民間に売却してはどうか。
  - ・地元業者を指定管理者にしてサービスを維持・向上させたい。
  - ・道の駅に出荷する生産者を活性化させていくべき。
  - ・温泉施設とスポーツ施設の統合を検討してはどうか。
  - ・JRや情報誌との連携による観光振興が重要。
  - ・利用者が少なく費用がかかる施設は速やかに廃止を検討しては。
- 保健・福祉施設
  - ・温泉とデイサービスを複合化してはどうか。
  - ・福祉施設の集約化には公共交通の充実が欠かせない。

- 医療施設
  - ・市立病院は統合した方がよいのでは。
  - ・救急医療に対応できる機能を求める。
  - ・待ち時間を短縮できるようにしてほしい。
- 子育て支援施設、学校教育施設
  - ・若い人が住みやすいよう、子育て施設や学校は減らさない方がよいのでは。
  - ・保育園と学校を近くにしてバスを共有してはどうか。
  - ・学校と高齢者施設を複合化してはどうか。
  - ・中学校は、生徒と教師にとっても、統合した方がよりよくなるのでは。
  - ・廃校の有効利用を検討すべき。



## ■長坂・小淵沢地区

### 意見の概要

- 産業系施設
  - ・観光案内所や利用者の少ない温泉は、民間に譲渡してはどうか。
  - ・温泉施設は、赤字ならば減らすなどの英断が必要。
  - ・温泉施設はコミュニケーションの場でもある。施設状態がよいうちに民間に譲渡してはどうか。
  - ・農林施設は民間への譲渡や廃止を考えたい。
- 保健・福祉施設
  - ・高齢者施設と子育て施設を隣接させてはどうか。
  - ・福祉施設と温泉施設などの親和性の高い施設を集約してはどうか。
  - ・施設の複合化は、福祉や子育てに関わる人材確保に好影響を与えるのではないかと。

- 医療施設
  - ・市外の病院に行く人が多く、市立病院は1ヶ所にして充実させてほしい。
  - ・診療所は民間に任せてはどうか。
  - ・医療施設と温泉施設を併設する工夫ができないか。
- 子育て支援施設、学校教育施設
  - ・中学校の統合は早急に。小中一貫校化も検討できないか。
  - ・小学校は地域に残し、中学校の統合はやむなし。
  - ・学校の再編は移住コンテンツの一つとしても検討していくべきではないか。
  - ・保育園と高齢者施設を併設してはどうか。
  - ・病児・病後児保育の認知度向上や病院との連携を求めよう。
  - ・子育て施設は、公共と民間の連携の視点が重要。

